

グリーンウェーブ事業（浅羽海岸防風林再生活動）について

1 背景・目的

浅羽海岸の松林は、飛砂や強風から農地等を守り、遠州灘に面して東西5kmにおよぶ松並木は「白砂青松」として長年親しまれ、美しい景観を醸し出していました。

しかしながら、永年の松くい虫被害により、松林は著しく減少し、防風林としての機能が低下し、壊滅的な状況となっていました。

そこで、松林の防災機能の再生を図るとともに、美しい景観を取り戻すため、平成17年度から平成21年度までの5年間にわたり、市民と企業、行政が一体となって、抵抗性クロマツの植樹などを行うグリーンウェーブキャンペーンを実施しました。また、平成22年度以降は、植樹した松林の生育を助けるため、枯損木の伐採や松の補植のほか、松林の根本等に生えた雑草等の下草刈り活動を継続して実施しています。

2 対象面積及び範囲

浅羽海岸防風林第2線提 約7.8ha（範囲については裏面参照）

3 植樹品種及び本数

（単位：本）

年 度	品 種	本 数
平成17年度	抵抗性クロマツ	5,000
平成18年度	抵抗性クロマツ	5,000
	広葉樹（クスノキ等）	500
平成19年度	抵抗性クロマツ	2,000
平成20年度	抵抗性クロマツ	1,800
平成21年度	抵抗性クロマツ	3,000
合 計		17,300

4 枯損木伐倒本数

（単位：本）

H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
49本	23	588	282	624	1,326	2,718
H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
2,718	1,529	1,454	461	134	91	90
						合計
						12,087